

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう

認定

### 環境にやさしい店

制度第1号として市内の37店が、簡易包装、再生品利用などに協力

市では、ごみ減量やリサイクルの推進に取り組む商店をこのほど「ごみ減量推進協力店」として認定し、認定看板を交付しました。認定店では、包装紙や紙袋の簡素化、再生品を使用したエコマーク商品の販売など、環境に配慮した取り組みが行われます。



認定看板を受取る「環境にやさしい店」の店主(左)

### 募集中

#### 対象商店

ごみ減量推進協力店の対象は、次のいずれかに取り組み、又は取り組もうとする市内の小売店等です。

- 包装紙、紙袋の簡素化など簡易包装の推進
- 再生品を使用したエコマーク商品の販売促進
- 空缶、空ビン、ペットボトル、プラスチック類等の回収及び資源化
- 再生紙等の再生品の利用促進
- 販売品の修理サービスへの積極的な取組み
- 市民に対するごみの減量化及び再生利用の呼びかけ
- その他小売店等の創意工夫によるごみの減量化及び再生利用の取組み

#### 応募方法

ごみ減量推進協力店の認定を希望する小売店等は、向日市ごみ減量推進協力店認定申請書を環境対策課に提出してください。

#### 認定

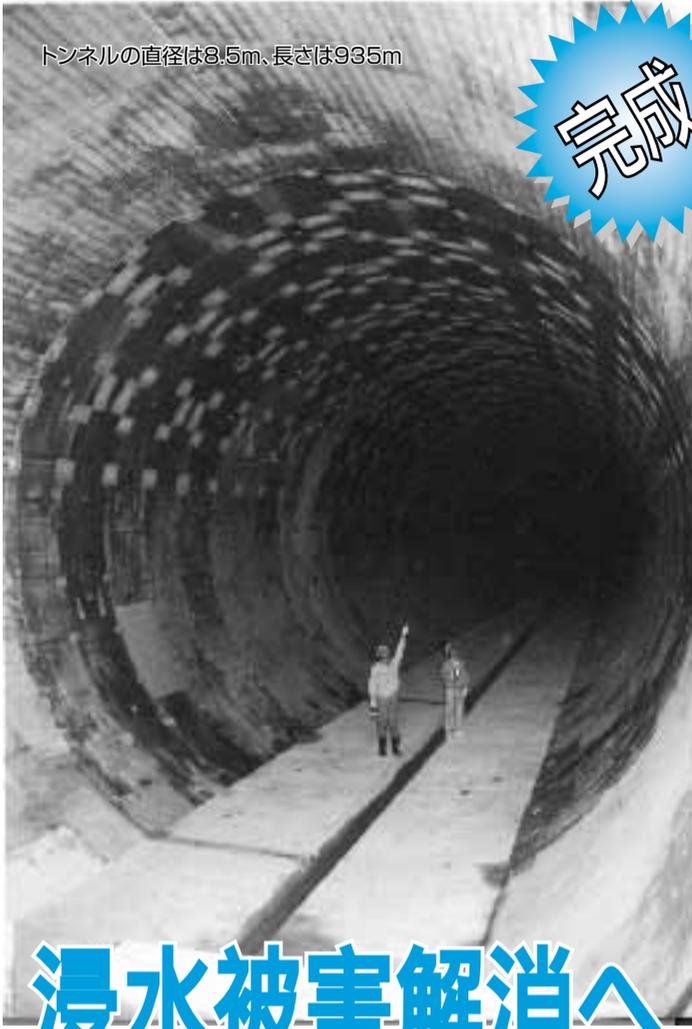
ごみ減量推進協力店として認定されたお店には、向日市ごみ減量推進協力店認定証と標示板が交付されます。

#### お問い合わせ

環境対策課環境衛生係(内線226)

トンネルの直径は8.5m、長さは935m

完成



### 雨に負けない 安心・安全の街づくり

市では、「雨に負けない街づくり」を推進するために、公共下水道雨水事業に積極的に取り組んでいます。

寺戸川排水区の浸水対策として、寺戸川などから溢れ出す前に水を取り込む寺戸川1号幹線、寺戸川2号幹線および行者池東分水路(どんど川)などの施設が完成し、溢れた水を一時的に貯める施設として、京都府が事業主体で進めていた桂川右岸流域下水道雨水北幹線第1号管渠「いろは呑龍トンネル」の完成と合わせて、6月1日から供用開始となっています。

これらの施設は約6万立方メートルの雨水を貯留でき、これから本格的な出水期に向け大きな効果が期待されます。

6月5日に洛西浄化センター(長岡京市勝竜寺)で行われた供用開始記念式典では、荒巻京都府知事から岡崎向日市長に「いろは呑龍トンネル」の運転管理を委託する鍵が手渡され、出席者全員がその完成を祝いました。

## 浸水被害解消へ

どんりゅう

# いろは呑龍トンネル供用開始



大雨が降ったとき、周辺の川が溢れ出す前にその水を取り込み、川の水位が下がった時点で、ポンプで溜めた水を川に排出します。



▲いろは呑龍トンネルの完成を祝う関係者

## 市民まちづくりフォーラム 提言

### 市民の視点から 50項目のまちづくりを提案

市民まちづくりフォーラム(吉井孝一座長)は、5月15日岡崎市長に、市民の目から見た50項目におよぶ提言書を手渡しました。フォーラムは、平成11年11月に公募で選ばれた17人の市民で構成され、「文化・教育・歴史」「環境・交通」「福祉・健康」の三分科会に分かれ、1年半の間に17回の討議を重ねてきました。

提出された提言書には、向日市を魅力あるまちにするための内容が込められています。

詳しい提言内容については、市役所の情報公開コーナーで閲覧できます。



吉井座長(右)から提言書を受け取る岡崎市長